

心電中継コード CIO-13

【禁忌・禁止】

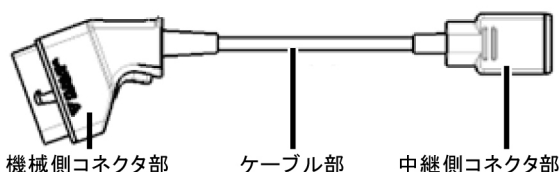
併用医療機器

- ・磁気共鳴画像診断装置 (MRI 装置)
[MRI 装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。]「相互作用の項参照」

【形状・構造及び原理等】

形状

外観図



種類

No.	型式	備考
1	CIO-13CTP-2.7	ケーブル長 2.7m
**2	**CIO-13CTP-3.6	**ケーブル長 3.6m

動作保証条件

使用温度：10～40℃

使用湿度：30～85%（結露しないこと）

作動・動作原理

体表面に貼り付けられた電極から得られた心電図信号を心電波形処理装置に伝達する導体です。
この活動電位を記録する一般的な装置は、生体情報モニタ等です。

【使用目的又は効果】

使用目的

患者の心電図信号を生体情報モニタ等に伝達する。

【使用方法等】

使用方法

- 1.本製品の機械側コネクタ部を、生体情報モニタ等のコネクタに接続します。
 - 2.本製品の中継側コネクタ部に、誘導コードを接続します。
 - 3.心電図を記録します。
- 詳細は、当該品目の取扱説明書もご確認ください。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- ・指定された製品以外、接続しないでください。指定の製品については、接続する製品の添付文書を確認するか、もしくは最寄りの販売会社までお問い合わせください。
[正常に動作しない、性能を満たさないなどにより安全上の問題が生じる恐れがあります。]
- ・除細動器および電気メスと併用するときは、接続する機器の取扱説明書を確認してください。[機種によっては装置が破損したり安全が保てないことがあります。]

- ・長時間測定する場合、誘導コード、電極等が押さえつけられ、患者を圧迫していないことを適宜確認してください。また、誘導コードが患者の体の下に配置されないようにしてください。[血流を阻害し、圧迫壊死を生じることがあります。]
- ・ケーブルをねじらないでください。ケーブルを巻いて束ねた状態から引っ張るとねじれの原因となります。[断線や破損の恐れがあります。]
- ・ケーブルの上にものを置いたり、踏まれたりしないようにしてください。[断線や破損の恐れがあります。]
- ・本製品は滅菌できません。
- ・本製品は防水仕様ではありません。

相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置 (MRI 装置)	併用不可	MRI 装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

直射日光の当たる場所、水のかかる場所、化学薬品の保管場所、ガスの発生する場所を避けて、指定温度範囲内の場所に保管してください。特に湿度、塩分、硫黄分の多い雰囲気には放置しないでください。

・保管温度：-10～60℃

・保管湿度：10～95%（結露しないこと）

耐用期間

2 年 [自己認証（当社データ）による]

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

- ・モニタリングや検査前に心電図の波形が正常に表示されることを確認してください。
- ・清掃は、当社指定の医療機器清拭クロス（OAZ-10 シリーズ）で拭くか、消毒用アルコール（エタノール、イソプロピルアルコール）をガーゼや脱脂綿などに含ませて固くしぼってから拭いてください。[指定以外の薬品を使用した場合、表面の樹脂を損傷させ、傷や故障の原因になることがあります。]
- ・消毒は、消毒用アルコール（エタノール、イソプロピルアルコール）をガーゼや脱脂綿に含ませて固くしぼってから拭いてください。[指定以外の薬品を使用した場合、表面の樹脂を損傷させ、傷や故障の原因になることがあります。]
- ・清掃および消毒の際、薬液が機械側コネクタ部、および中継側コネクタ部に入り込まないようにしてください。[接続機器の故障または動作不良の恐れがあります。]
- ・清掃および消毒後、薬液が表面に残っている場合は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。[表面の変色や傷、劣化の原因になることがあります。]
- ・ケーブルを拭く際は、コネクタ等からケーブルを引っ張るように拭かず、ケーブルを握って拭いてください。[断線や故障の恐れがあります。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

フクダ電子株式会社

電話番号：03-5802-6600（お客様窓口）